資　　料　　8
令 和 8 年 7 月 1 4 日
武蔵野市廃棄物に関する市民会議

令和８年５月 15 日
厚生委員会行政報告資料

市指定有料ごみ処理袋の材質変更について

1　背景

中東情勢の影響により、ポリエチレンの原材料となるナフサの調達が不安定であることから、市指定有料ごみ処理袋（以下「ごみ袋」という。）の製造が、困難になる懸念がある。このため、以下のとおり材質を変更し調達可能な原材料でごみ袋を製造することで、安定供給を図る。

2　変更内容

ごみ袋の材質を現在の高密度ポリエチレンから、調達が安定している低密度ポリエチレンへ変更する。

なおバイオマスプラスチックと再生プラスチックについては、当初予定通り、配合に加えることにより、CO_2排出削減を推進する。

3　特徴の違い

項目	内容
高密度ポリエチレン	伸びにくく、ちぎれにくい。 突起物が突き抜けやすい。
低密度ポリエチレン	伸びやすく、突起物が突き抜けにくい。 耐荷重の確保のために厚みが必要となる。

4　ごみ袋供給予定

令和８年８月まで：現在と同じ高密度ポリエチレンのごみ袋を供給
令和８年９月以降：低密度ポリエチレンに変更したごみ袋を供給

5　経費面の影響

原材料の高騰に伴い、当初の予算を数百万円程度上回る見込みである。

6　今後の予定

令和８年７月 15 日（予定）　市報及びホームページにて周知

担当課　環境部ごみ総合対策課